



代表 浅原のあいさつ



新しい年、2024年が始まりました。今年度もあとわずかとなりましたが、事業所での時間を使って、毎日の生活を大切に楽しく暮らせる工夫をしていきたいと思ひます。そして、「子どもたちの将来につながる療育」を進めていきたいと思ひます。

今回は、子どもたちへの接し方についてお伝えしようと思ひます。

- ① 子どもたちに何かを伝えるときは、肯定的に伝えるとわかりやすいです。
例えば、「走らないで!!」と言ってしまうと、「走る」という行動を止められても、その代わりにどうすればいいかわからない子どもがいます。「歩こうね」と伝えることで、走らないで歩けばいいことがわかります。要は「〇〇をしない」「ダメ!」と伝える場合は、「その代わりにしてもいいこと」を伝えることで、子どもたちが行動できるようになるということです。
- ② 比較したり対になる言葉を教えたりする場合には、差のあるもので体験するとわかりやすいです。
例えば、みなさんは「歩く」と「走る」をどうやって区別していますか。たぶんみなさんは、どこまでが「歩く」でどこからが「走る」かを感覚で理解していると思ひます。「走らない!」と言われても、自分が走っているのか走っていないのかわからない子どもがいます。そんな時には、「あ・る・く」とゆっくり言いながら子どもと一緒に歩いて、そのペースを体験してもらおうと「歩くという感覚」が伝わりやすくなります。そして、「走る」を教えるときには子どもと一緒に思いっきり走る。最初に両極端な体験をすると、その意味がわかりやすくなります。「歩く」と「走る」の意味が感覚でわかってきてから、一般的な「歩く」「走る」を体験していくと、区別が付きやすくなります。数量の概念などを教える時も同じです。子どもにとって、どんなことがわかりやすいかを知ることで、よりスムーズなコミュニケーションが生まれ、それが子どもたちとの信頼関係に繋がっていきます。

今年も子どもたちの思いを大切に受け止められるように、職員一同、自己研鑽に努めて参ります。そして、保護者の方のご意見や思いを取り入れた療育を進め、保護者のみなさまに安心していただけるよう努めて参ります。今後もみなさまのご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

新しい年がみなさまにとって、笑顔溢れる素敵な年になりますよう心からお祈り申し上げます。

2月のお知らせ

・1月23日(火)に、防災訓練を実施する予定です。

12月に作成した壁画です。雪だるまや、クリスマスツリーがたくさんできました。手順書を見ながら、最後まで完成させることができました。



土曜デイ



2月は3日、17日です。

冬休みの活動

冬休みに、「おかいもの体験」「工場見学」「制作」などに取り組みました。

おかいもの体験では、今まで集めたソワマネーを使い、お菓子を買うことができました。

今あるソワマネーでいくつまで買えるのか電卓で計算している子もいました。

工場見学では、高砂にあるキッコーマンの醤油工場に行きました。

醤油ができるまでの工程を見たり、実際に醤油を絞っている所を見たりしました。

制作では、「ビンゴカードの作成」と「季節のちぎり絵」に取り組みました。

動物の顔に色を塗り、ビンゴカードに貼り付けて、ビンゴカードを作成しました。

その後は、ビンゴゲームを楽しみました。

季節のちぎり絵では、折り紙をちぎって、「竜」や「富士山」「日の出」等の型紙に貼るところまで、みんなで完成させることができました。続きは、1月の通所時に作っていきます。

コッコロの玄関に入って左側に作成したものは展示していますので、機会があればご覧ください。



おかいもの体験



工場見学



制作

